

令和7年度

事業報告書

特定非営利活動法人000 PAF GLOBAL UNIVER-CITY

1 事業の成果

- 令和7年度は、社会教育及び生涯学習の実践を推進する事業として、下記の事業を実施した。

秋のオンライン企画では、暮らしに欠かせない「水」が、多様な生命をつなぐ存在であることを再認識し、流域治水という観点からは、地域や行政区・立場・世代を超えて流域全体が一つにつながり、相互に影響し合っていることへの理解を深めることができた。また、霧などの地域固有の自然環境を活かした実例に触れることで、身近な地域資源を新たな視点で捉え直す機会となった。

当法人創立30周年記念企画の講演会は、主たる事務所を構える大島町にて開催し、島内外から103名が参加した。多様な子どもたちの特性や主体性を尊重し、対話を基盤として学びをつくる教育の重要性について理解を深めることができた。また、公教育においても既存の枠組みにとらわれない、多様な学びのあり方を実現できるという可能性への理解と期待が高まった。さらに、大島町で近年取り組まれている先進的な実践例に触れ、地元の児童・教員・保護者・地域住民など多様な方々に、大島の自然や環境を「共育」の資源と捉え、学校・家庭・地域が協働して子どもたちの成長を支えていくことの重要性を共有することができた。「目から鱗」「学校に対話を取り入れていく」という具体的な声も寄せられ、新たな展開につながるきっかけを創出することができた。これらの企画アンケートやアーカイブ動画はウェブサイト上に公開し、誰もが継続的に学べる環境を整備している。

- 市民力の育成と地域社会の振興に関する活動及び、非営利の市民団体との協力に関する活動として、下記の開催協力を実施した。

大井川流域の市民団体を中心に、川根町で開催されたフォーラムでは、当会員有志も実行委員メンバーとして共創。人口減少が進行する地域一帯の危機感を共有し、流域の枠を超えた公益的な対話と共創の促進に寄与することができた。

当会員主催の「共育」をテーマとした地域の交流会では、子どもたちの育ちや学びについて、世代や立場を超えて学び合い交流する場づくりの一助となることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【218,477】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1)社会教育及び生涯学習の実践、参加共催型公開講座・フォーラム等の開催	秋のオンライン企画 地域・地球社会の未来 ー今、住んでいるところからの共創、「水と共に」主催 ゲスト 一般社団法人Fogin代表理事 並河 杏奈 氏 京都府亀岡市の流域治水時代のまちづくりに向けた取り組みを学び、交流トークを行った。その後、2回に分けて下記をテーマにグループトークを行った。 ①「今、住んでいるところでわたしたちに何ができるかな」 ②「わたしにとっての『水と共に』とは」 トーク内容(動画)は、当法人のホームページより配信。	令和7年 10月19日 13:20-16:00	オンライン (Zoom)	8名	NPO関係者/環境教育/まちづくり/生涯学習に関心のある一般市民	23名	50.165

(1)社会教育及び生涯学習の実践、参加共催型公開講座・フォーラム等の開催 (2)市民力の育成と地域社会の振興に関する活動、交流、共同事業の創造	共進化のリバールート 「10年後の川根 今、どうする？」フォーラム 協力 講演 井上 恭介 氏 川根の10年後の未来に向けてのキーワードを、各地の里山・里海の事例をヒントに探り学ぶ。その後、地元のキーパーソンとパネルディスカッション・フロアトークを展開した。 フォーラム開催に向けてフライヤー・ポスター制作に協力した。 当法人のプロジェクト会員UNIVER-CITY OHSHIMAがゲストとして事例を発表。	令和8年 2月1日 13:00-16:00	静岡県 島田市 川根文化センター チャリム 21	6名	NPO関係者/まちづくり/地域創生/生涯学習に関心のある一般市民	約150名	20
(1)社会教育及び生涯学習の実践、参加共催型公開講座・フォーラム等の開催 (2)市民力の育成と地域社会の振興に関する活動、交流、共同事業の創造	上田 椋也さんと大島の共育を語ろう交流会 協力 UNIVER-CITY OHSHIMA主催 文科省の上田 椋也さんを囲んでの、大島の取り組みについて発表。質問・交流会会場づくり・駐車場案内等の運営協力。	令和8年 3月7日 13:30-15:30	東京都大島町元町藤倉学園体育館	13名	大島の教育関係者・保護者/生涯学習に関心のある一般市民	30名	0
(1)社会教育及び生涯学習の実践、参加共催型公開講座・フォーラム等の開催 (2)市民力の育成と地域社会の振興に関する活動、交流、共同事業の創造	GU創立30周年記念 「これからの社会に必要な子どもたちの教育のために」講演会 主催 東京都教育委員会後援 講師 上田 椋也 氏 (文部科学省職員) 九州で初めての公立「学びの多様化学校（不登校特例校）」として開校した、くす若草小中学校の歩みをもとに、さらに一人一人の個性を生かす「みんなが主役の教育」をどう実現していくかを、大島の皆さんと共に考える講演会を開催した。 トーク内容(動画)は、当法人のホームページより配信。 その他、創立30周年を迎えた当法人の活動紹介のパネル・モニターを展示。	令和8年 3月7日 19:00-20:40	東京都大島町元町開発総合センター大集会室	13名	NPO関係者/教育者/生涯学習に関心のある一般市民・大島島民	約103名	148.312

(2) その他の事業 実施しなかった